

研修報告

(仲佐修一)

《研修日程》

研修月日	研修場所	研修実施主体	研修内容
6月30日 (火)	東京都新宿区 (資料・USB 動画を入手し安 来市荒島町の自 宅で視聴)	地方議員研究会	ライドシェアと自動運転の基 礎と課題

上記日程の資料を7月11日(土)に視聴研修

《研修内容》

1. 地方議員研究会

●研修

「ライドシェアと自動運転の基礎と課題」に関する知識を短期間で習得するため

●説 明 者

早稲田大学スマート社会技術融合研究機構研究院客員准教授 井原雄人氏

●説明概要

○ライドシェアと自動運転の基礎と課題

1. 政府の交通空白解消本部の議論をおさえる
2. 日本版ライドシェアの全国展開?
3. 公共ライドシェア、日本版ライドシェア、乗合タクシー コミュニティバス、デマンド運
行の定義と役割
4. 自動運転ロードマップ
5. DXGX 新しいモビリティサービス

●考 察

道路運送法による分類について説明があり、現行の路線バス、タクシーに加え、自家用有償旅客運送(公共ライドシェア)がどのような位置づけになるのかよくわかった。

自家用有償旅客運送(公共ライドシェア)は、そもそも2006年の道路運送法改正により、過疎地域や福祉といった地域住民の生活維持に必要な輸送がバス・タクシーにより提供されない場合に、市町村やNPO等が自家用車を用いて有償で運送できる制度として創設されたとのことだった。

自家用有償旅客運送(公共ライドシェア)は、安来市地域交通計画、安来市地域公共交通利便増進計画上、交通空白地解消手段として推進する方向性が示されている。今後、計画の

進捗等確認していきたい。

なお、自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）の導入は有効であると考えてるが、運転手不足等の課題が一気に解決するわけでもないので、市としてどのような支援を行っていくのがよいのか検討してみたい。

また、安来市地域交通計画、安来市地域公共交通利便増進計画には、一部地域への自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）の導入が予定されているが、今後より広い地域に広げる可能性等も確認してみたい。

自動運転の社会実装に向けた取り組みについても説明があったが、実用化にはまだ長い時間がかかるようなので、現時点では実用化への動きを注視していきたい。